

平成 2 3 年 萩市議会 3 月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	8	長 岡 肇太郎	3月7日午前
2	13	斉 藤 眞 治	
3	2	関 伸 久	午後
4	17	中 村 洋 一	
5	12	木 村 靖 枝	
6	3	西 中 忍	3月8日午前
7	21	宮 内 欣 二	
8	4	椋 晶 雄	午後
9	19	西 元 勇	
10	1	佐々木 武 夫	
11	5	大 村 赳 夫	3月9日午前
12	9	中 野 伸	
13	22	諸 岡 皓 二	午後
14	24	横 山 秀 二	
15	10	広 兼 義 烈	

質問順位	1	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 商工行政	1. 萩商港の出入港口の安全性確保について 2. 萩商港内の野積場を駐車場として整備することにより、 景観の改善と観光客や乗船客の利便性の向上を図れないか		

質問順位	2	質問者	斉藤真治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 林業行政について	1. 森林づくりと雇用対策について 2. 木材の地産地消と固定資産税の減免について 3. 鳥獣被害対策と支援について		
2. 遺跡の復元と城下町の祭り(まつり)について	1. 「銅像」の建立について(井上 勝翁・鉄道の父) 2. 「香雪園」の復元について(藤田伝三郎生家跡) 3. 萩ふるさとまつり・萩時代まつりと萩金谷天満宮祭及び、萩夏まつりと住吉祭のあり方について		

質問順位	3	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 財源確保にむけた新たな基金（地方自治法第241条）の創設について</p>	<p>昨年より萩市の新たな財源確保策として、職員駐車場の有償貸出 市有施設の自動販売機設置業者の公募 ネットオークションを利用した不用備品の売却等の取り組みを実施している。本税の割合が少ない萩市においては評価できる取り組みであり、今後も継続されることを切に願うものである。これらは萩市が主体的、能動的に取り組むことのできる財源確保策であるが、一方で受入型の財源確保策の拡充も併せて必要である。</p> <p>代表されるものとしては2008年度から始まった「ふるさと納税」があり、本市においても、その受け皿として「あなたのふるさと萩応援基金」を設けているが、これとは別に「萩のまちなみ保存基金」の創設を提案したい。（名称はこれに限るものではない）</p> <p>この基金には次の効果があるものとする。</p> <p>1. 前者の財源の大半は「ふるさと納税」と推測されるが、後者はそれに限定されない任意受入型の基金であり、その金額、時期に制限をなくせば納税者以外の多方面からの資金受け入れが期待できる。（ふるさと納税は寄付金控除が上限と思われる）</p> <p>2. 具体的には市内事業者における広告効果との相乗を期待しており、例えば「市内ホテル等の宿泊料の一部が萩のまちなみ保存に使われます。」「ここでの飲食料金の一部が萩のまちなみ保存に使われます。」などのフレーズは、事業者の営業戦略上において広告効果が高く、また企業のCSR活動とも合致する。（市内の事業者に対し、この萩市があってはじめてビジネスができるという認識共有にもつながる）</p> <p>3. 最後にこれらのフレーズが各事業者を通じて観光客に伝われば、本市への理解が更に深まるものとする。「エコ」や「省資源」が消費のキーワードとなっている今日、「まちなみ保存」は観光客のシンパシーを得る可能性は十分にあり、来訪意欲が高まれば、それは必然と事業者に還元される。</p>		

	<p>以上が本基金に期待される効果であるが、「まちなみ保存」は「萩まちじゅう博物館」プロジェクトの重要な礎であることからその資金調達源は一つでも多く確保しておきたい。</p>
<p>2 . 市役所の総合窓口化構想は人材の兼務によって完成する</p>	<p>平成23年7月19日より市役所の総合窓口化が計画・予定されている。先般の1月の臨時議会の全員協議会でも「窓口の総合化により市民の利便性の向上を図る」旨の説明があった。すばらしい計画であり、当然として総合窓口のバックオフィスで働く人たちもチーム制（人材の兼務）により、それぞれの所属の部課をまたいで業務を行うものかと思っただが、「その予定はない」と言う。</p> <p>現在、本市では「萩市定員適正化計画」に基づき、職員の計画的削減を図っており、新卒採用の抑制と自然退職、勧奨退職により今後の職員数は減少していく見通しである。職員数は減るものの、業務については市民ニーズの多様化、社会情勢の変化等の理由により増えることはあっても減ることはないものと推測される。</p> <p>その為にも総合窓口化は必要であるが、それに伴いバックオフィスをチーム制にして、ポリバレンタ（多様性のある）な人材を育てるべきである。</p> <p>そのメリットは以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 . 一人の人材に複数の業務を行わせることで、業務の効率化を図ることができる。 2 . 部課によっては繁忙の時期が異なるが、チーム制の導入により業務量の平準化が図られ、これにより残業時間の削減も可能である。 3 . また複数の業務を行うことで視野の広い人材を育てることもでき、適性についても早期に見極めることができる。 <p>今回の「総合窓口化」は人材を育てる最大のチャンスであり、そういう目的をもって取り組めば二重の効果が見られると思われるが、市長の所見をお聞かせ願いたい。</p>

質問順位	4	質問者	中村洋一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 空き家の適正管理対策について	1. 民間の老朽化した空き家で、相続もなかなか特定できない危険な住宅への対応について 2. 空き家が放置され、管理不全な状態となることを防止するための対策について		
2. 交通安全対策について	1. 県道萩城址線と市道片河線の交差点に信号機の設置ができないか		
3. まあーるバスの運行コースについて	1. コースの見直しで本来あった停留所が無くなり、高齢者が困っている地域がある。今後の見直しの際に検討をしていただきたい		
4. 障がい者教育対策について	1. マルチメディアデイジー教科書の活用について		

質問順位	5	質問者	木村靖枝議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 農林行政	1. 高病原性鳥インフルエンザの危機管理体制及び対策について		
2. まちづくり行政	1. 椿地区への大規模店舗の進出に伴う交通・雨水対策について		

質問順位	6	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．人口減少問題について	<p>市では、これまでUJターン促進住宅の整備や、空き家情報の提供、また起業する人の支援など、人口の減少に歯止めをかけるための取り組みを行ってきましたが、事業成果と今後の取り組みについてお尋ねします。</p> <p>また、国勢調査の結果について、市長のご所見をお聞かせください。</p>		
2．子供たちの健全育成について	<p>いじめ・不登校・暴力行為など、問題行動等の発生件数は、少しずつ減少しているようですが、後を絶ちません。このような子供たちへの対応や、問題行動を起こす子供が出ないよう、乳幼児から20歳位まで一元的にかかわることのできる仕組みをつくるべきだと思いますが、市長の考えをお聞きします。</p>		

質問順位	7	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．人口定住対策について	1．激しい人口減少の中で、定住策の強化がもとめられているが、どのようにすすめていくのか 2．農村への移住対策についての戦略をどう考えるか		
2．国保政策について	1．国保料の負担軽減をどう図るか 2．国保窓口負担の軽減について 3．国保広域化での負担軽減は可能か		
3．難聴者、聞こえにくい人への対策	1．公共施設、観光施設、バス、屋外屋内講演会、イベントなどへの磁気ループ（ヒアリングループ）装置の配置の推進について		

質問順位	8	質問者	椋 晶 雄 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．低炭素社会への取り組みについて	<p>低炭素社会を目指す萩市のプロジェクトチームは既に活動を始めており、23年度予算の4つの柱の1つにとり上げていただいています。</p> <p>1．萩市の取り組みについて、環境都市宣言という形で発信すべきと考えますが、その方向についてお尋ね致します。</p> <p>2．雇用機会を増やすため、今後とも継続的に施策を打つことが大切だと考えますが、国・県の支援を得ながらどのような拡充を考えておられるのかお尋ね致します。</p>		
2．ドクターヘリを利用する際の救急医療体制について	<p>ドクターヘリは他の県には派遣されないと聞いています。</p> <p>例えば、須佐・田万川地域の病人が島根県益田市の病院に救急車で搬送された場合など、途中で容体が急変して、ドクターヘリを呼んでも来てもらえないという事態が想定されます。</p> <p>島根県は23年度にドクターヘリを導入する計画のようですが、津和野町などは逆の立場で困ると思われまます。</p> <p>県相互に協定を結ぶなどの対応を要請していただきたいと思いますが、お考えをお尋ね致します。</p>		

質問順位	9	質問者	西元 勇 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．文化財行政について	1．国指定天然記念物「指月山」の成熟した山相を守るための竹林伐採等緑の整備を問う。		
2．観光行政について	1．国の名勝・長門峡の遊歩道の整備を問う。		

質問順位	10	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. ふるさと寄付金に関連する「寄付条例」の導入について	1. 全国からの寄付により福祉充実や低炭素化（エコ化）社会づくりの事業内容を公募し、目標や関係者を決めて寄付を募り基金をつくる寄付条例導入を		
2 日本海の海の恵み（魚）の地産地消について	1. 学校給食の取り入れ 2. 急速冷凍施設や価格安定の助成 3. 地産地消、関係市民の協議の場を		
3. 福祉対策について	1. 障がい者の方が病院に行く場合にタクシー利用のチケット、1回使用の額が500円助成になっているが、基本料金（ワンメーター）まで引き上げることができませんか		

質問順位	11	質問者	大村 起夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地域主権というけれど	1. 地方の振興に国は責任を果たせ。地方自治の本旨と二元代表制の思想的背景について市長の態度をきく		
2. 水道料金等の改正について	1. 萩市水道給水条例改正、萩市簡易水道等給水条例改正の時代的背景と向後の戦略をきく 2. 下水道使用料改定の背景をきく		
3. 雨水対策整備計画策定委員会の現況について	1. 委員会の審議経過をきく 2. 江向地区の雨水対策に進捗はあるか		
4. 音楽による町おこしを	1. 萩みれん、しろうお音頭などご当地ソングが人口に膾炙している。このようなエネルギーを町おこしにいかそう。コンサートの誘致など受け入れ体制はととのっているか。		

質問順位	1 2	質問者	中野伸議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．地籍調査について		1．地籍調査の進捗状況は 2．地籍調査事業完了の見通しは	
2．交通安全対策について		1．信号機設置について 国道315号と県道萩・津和野線の交差点（むつみ地域・片俣地区）	
3．高齢社会対策について		1．安心・安全なまちづくり行政について （1）地域におけるライフスタイルに関する調査 （2）今後の消防のあり方 （3）地域医療体制	

質問順位	13	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 観光行政について	1. 観光とまちじゅう博物館構想について 2. 経済効果対策は 3. プラン・ドゥ・チェック機能は		
2. 地域産業の活性化について（主に第一次産業）	1. 地域経済の活性化対策は		

質問順位	14	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1.人工透析の対応について	1.透析治療の地域内対応について 2.透析患者に対する援助の充実について		
2.萩市の市有林野の管理について	1.現状の管理状況について 2.林野委員等の充実等について		

質問順位	15	質問者	広兼義烈議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1 .山陰自動車道(益田・萩間)建設促進について問う	<p>市、議会の建設促進の努力にもかかわらず建設の決定に至っていない。なんとしても早期に実現しなくてはならない。今後の取り組みについて問う。</p> <p>市民の協力について 建設促進運動は、かなりの期間にわたっており、市民の盛り上がりを継続することは容易でない。市民の結集は大きな推進力になる。今後の方策について問う。</p> <p>関係市町の連携について 関係市町の連携の現況と今後について問う。</p> <p>県の理解と協力について 建設に対する県の理解を得るとともに建設促進の先導的役割を望んでいる。現状の県の対応について問う。</p> <p>国への働きかけについて 国の公共事業予算の大幅な削減や政策転換で厳しい環境であるだけに行政だけでなく政治の力も必要と思う。 現時点における国の状況について問う。</p> <p>昨年5月8日に益田市で建設促進総決起大会が開催され、その席上、益田市長は道路の役割を経済、医療、国防上、必要だと強調された。そのとおりで萩市だけの問題ではない。今後とも強力な促進運動が必要である。</p>		
2 . 地区公民館の充実について問う	<p>過疎、高齢化が急速に進行している今、地区公民館を充実させ分館に対する協力、支援を行うことが以前にもまして求められている。社会教育は目立ち難い分野だが、公民館とその活動は社会教育法で明確にされている。</p> <p>職員配置、予算の充実に一層の配慮を要望する。</p> <p>無縁社会、絆の喪失ということばを、よく聞く一方、独居老人、高齢者世帯は増え続けている。こうした現状であるだけに公民館が果たすべき役割は極めて重い。</p>		
3 . 地場産業の振興について問う。	<p>農林漁業の再生について 農林漁業の再生(=農山漁村の再生)は国政の問題であるとしても市として可能な策は実行すべきである。</p> <p>市内で農業経営を継続するためには解決すべき多くの課題がある。そこで次のことについて質問する。</p>		

	<p>担い手の育成、確保対策 農地の確保、保全対策 流通経費の削減策 JA との連携強化 財政支援のあり方（戸別所得補償等） 農林漁業で暮らせる方法はないのだろうか。今の農山村の状況は格差社会というより貧困社会になりつつある。 観光関連産業の振興について 市が経済的に潤うことが目的であることは言うまでもない。観光客の誘致、他の市町村から一人でも多くの客に来てほしい。財布の紐を緩めてほしい。このことの策について答弁いただきたい。</p>
<p>4 . 大島、相島、見島航路の運航について問う。</p>	<p>減便、運賃の値上げが検討されているようだが、現行よりサービスが低下しないよう市は対処していただきたい。 経済的にも社会的にも文化的にも不利な条件下にあり、行政サービスも十分受け難いのが現状で、配慮が必要である。見島の方が発言された陸の40キロと海の40キロは違うんだという言葉は重く受け止めるべきである。</p>